



使用上の注意

Fiery Color Profiler Suite、v5.4

本書には、このリリースに関する重要な情報が含まれています。インストールを進める前に、すべてのユーザーにこの情報を提供するようにしてください。

メモ：本書では、「Color Profiler Suite」という表記は Fiery Color Profiler Suite を指します。

Color Profiler Suite の以前のバージョン、ソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約 (SMSA) をご利用の場合、Fiery Software Manager から新しいバージョンが通知され、アップグレードすることができます。SMSA が期限切れの場合、通知されませんが、Fiery Software Manager を（ヘルプ>アップデートを確認をメインウィンドウで選択して）実行し、SMSA を更新してから、アップグレードすることができます。

Fiery XF または Fiery proServer ユーザーが Fiery XF サーバー 7.0 以降、Color Profiler Option、有効な SMSA を使用している場合、ユーザーには Color Profiler Suite のアップデートまたはアップグレードを行う権限があります。使用可能なアップデートは、Fiery Software Manager または Fiery Command WorkStation のアプリおよびリソーススクリーンに表示されます。ユーザーは、Fiery XFSMSA 状況を Fiery XF のライセンスマネージャで確認できます。

本バージョンの新機能

Fiery Color Profiler Suite のこのバージョンには、新機能が導入されています。

64 ビットアプリケーション：Fiery Color Profiler Suite v5.4 (CPS) は、Mac OS および Windows コンピューターの両方でネイティブの 64 ビットアプリケーションです。CPS v5.4 では、32 ビットオペレーティングシステムはサポートされていません。Fiery Software Manager が 32 ビットオペレーティングシステム (Windows 7 32 ビットなど) ですでに実行されている場合、CPS v5.4 パッケージのアップデートの通知は表示されません。32 ビットオペレーティングシステムに Fiery Software Manager をインストールしようとする、互換性のエラーが表示され、インストールがキャンセルされます。サポートされるオペレーティングシステムの一覧については、[システム要件](#) (2 ページ) を参照してください。

メモ：Fiery Color Profiler Suite のこのバージョンには、新しいライセンスと有効なソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約 (SMSA) を必要とする v5.4 が必要です。現在、バージョン 5.x または 4.x を実行していて、SMSA が最新の場合、Fiery Color Profiler Suite は EFI ライセンスサーバーから最新のライセンスを自動的にダウンロードします。Fiery Color Profiler Suite SMSA を更新するには、Fiery 販売店に連絡して、SMSA 更新パーツ番号「10000006105」を伝えます。Fiery Color Profiler Suite 4.x の所有者は、バージョン 4.x から SMSA1 年分を含む 5.x の最新バージョンへのアップグレードを購入することもできます。その場合は、Fiery 販売店にパーツ番号 3000013448 (デジタル配達) または 3000013280 (物理的な配達) を伝えてください。



メモ：Fiery Command WorkStation、Fiery Command WorkStation 6.3 以降からの Fiery Color Profiler Suite 起動ポイントを推奨します (Fiery Command WorkStation 6.5 以降がサポート対象です)。旧バージョン Fiery Command WorkStation の起動ポイントでは、Fiery Color Profiler Suite 5.4 モジュールは起動しません。

- Fiery® Edge™ユーザーインターフェイスは、視覚的に応答性の高いツール、機能の論理的なグループ化、タブ数の減少、スクロールの減少、マウスオーバー機能の包括的なガイダンスにより、さらにユーザーフレンドリーで応答性が高く、操作しやすくなっています。
- Fiery Verify の G7 対象、G7 対象 SCCA、G7 色空間プルーフ、G7 色空間プルーフ SCCA、G7 色空間プレス、G7 色空間プレス SCCA の新しい検証プリセットのサポート
- Fiery Color Profiler Suite ライセンスのキヤノンインライン分光測色計のサポート
- 長辺の方向を使用したグラフの読み出しをより効率的に行い、測定する行を少なくし、ルーラーの最大長や最大用紙幅を使用するように設計されているため、用紙をより効率よく使用でき、プロファイル作成が高速になります。
- CMYK と CMYK+プリンターの両方で使用可能な、新規 PrintWide2020.icc の広範な色域リファレンスプロファイルのサポート
- オプションの 2 つのパッチサイズ (中 と 大) をサポートし、サポートされている分光測色計の測定安定性と精度を改善します。
- EFI は Fiery Color Profiler Suite v5.4 が、Rosetta2 ベースの macOS 12 Monterey およびテスト済み macOS 12 ベータ版と互換性があると想定しています。最新のニュースについては、[こちら](#)を参照してください。
- EFI は自社テストに基づき、Fiery Color Profiler Suite v5.4 が Windows 11 と互換性があると想定しています。最新のニュースについては、[こちら](#)を参照してください。
- EFI は自社テストに基づき、Fiery Color Profiler Suite v5.4 が Windows 2022 と互換性があると想定しています。最新のニュースについては、[こちら](#)を参照してください。
- Fiery Verify の公式ウェッジレイアウトでサポートされている測定器で使用可能な場合、検証ワークフローの公式レイアウトで IDEAlliance からの G7 Verifier、P2P51、P2P25Xa チャートの測定をサポートします。
- Fiery® Edge™プロファイルエンジンは、ICC バージョン 2 プロファイルの代わりに、バージョン 4 プロファイルを作成できるようになりました。
- Fiery Color Profiler Suite v5.3.4 のさまざまな問題が修正されました。

システム要件

Fiery Color Profiler Suite を実行するには、使用している Windows または Mac コンピューターが次の最低要件を満たしている必要があります。

メモ：Fiery Color Profiler Suite v5.4 は、64 ビットオペレーティングシステムのみをサポートしています。

Windows	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 11 (64 ビットのみ) • Windows 10 (64 ビットのみ)
macOS	<ul style="list-style-type: none"> • macOS 12 • macOS 11 • macOS Catalina 10.15 • macOS Mojave 10.14

設定	<ul style="list-style-type: none"> • 4GB の RAM (最小) と 8GB 以上の RAM が推奨 • アプリケーションに使用できる 3GB の HDD の空き領域 • 最小 CPU : <ul style="list-style-type: none"> • Intel® Core™ i5 プロセッサ以上 • AMD Ryzen™5 プロセッサ以上 • 次の推奨解像度で 16 ビットカラーをサポートするモニター : <ul style="list-style-type: none"> • 最小解像度 : <ul style="list-style-type: none"> • Windows : 1024x768 • macOS : 1024x800 • 最高解像度 : <ul style="list-style-type: none"> • Windows : 2560x1600 • macOS : 2560x1600 • Fiery Verify モジュールには 1280x1024 のモニター解像度が必要 • サウンドカード推奨 • EFI 分光測色計用の USB 2.0 ポート (電力供給対応) ×1。他の測定器に必要な追加ポート <p>メモ:EFI 分光測色計は、ほとんどのキーボードの USB ポートまたは電力供給未対応の USB ハブに接続しても動作しません。EFI 分光測色計と接続ケーブルは Fiery Color Profiler Suite に付属しています。</p>
プリンター	すべての RGB、CMYK、CMYK+X のカラープリンター

5.4 で修正された問題

M1 測定モードでの測定値の検証

ES-2000 や X-Rite i1IO などの外付け分光測色計使用においてモード M1 が選択された場合、Fiery Verify はそれを使用します。

5.4 の既知の問題

(macOS 11) Fiery Profile Inspector プロファイルプロットのグリッド調整

Fiery Profile Inspector では、高解像度モニターのグリッドをプロットするインスペクタープロファイルは左下角で位置合わせされます。

G7 P2P25Xa パッチセットを測定すると、スキャンエラーが発生する可能性

Fiery Verify では、公式パッチレイアウトの最後のパッチを越える G7 P2P25Xa ストリップを測定すると、不完全なストリップスキャンエラーが表示されます。

パッチレイアウトプレビューのカラーが、印刷された ICC チャートと一致しない

Fiery Printer Profiler では、FieryMeasure ウィンドウでプレビューされたカラーと実際に印刷される ICC チャートは異なります。

モニターの解像度拡大縮小

モニター解像度を Windows システムで拡大縮小すると、Fiery Color Profiler Suite にエラーが表示されます。

macOS 11 でアクセス可能なフォルダーにモニタープロファイルが保存されない

Fiery Monitor Profiler では、モニタープロファイルは、アクセス可能な macOS 11 システムフォルダーに保存されません。この問題を回避するには、モニタープロファイルを書類フォルダーに保存し、モニタープロファイルを HDD/ライブラリ/ColorSync/プロファイル/ディスプレイフォルダーにコピーして、macOS 11 のディスプレイ環境設定に表示する必要があります。

特殊文字を含むジョブ名

特殊文字を含むジョブ名は、Fiery Verify では読むことができません。

Apple MacBook Pro に接続している Konica Minolta MYIRO-1 および MYIRO-9 測定器

macOS 11 を搭載した Apple MacBook Pro（13 インチ、M1、2020）に USB 接続（C タイプコネクタ）している場合、Konica Minolta MYIRO-1 および MYIRO-9 測定器は検出されません。

プロファイリングに ES-6000 を使用する

Fiery Color Profiler Suite が Fiery server にインストールされている場合、ネットワーク接続された ES-6000 をプロファイリングに使用することはできません。

ES-3000 が、Fiery Monitor Profiler、Fiery Profile Editor、Fiery Profile Inspector から使用できない

ES-3000 測定器は Fiery Color Profiler Suite 内の Fiery Monitor Profiler、Fiery Profile Editor、Fiery Profile Inspector モジュールからは選択できません。ES-3000 エントリがないため、エミュレーションモードで ES-3000 を使用する場合は、モジュールで測定器として ES-2000 を選択する必要があります。

Techkon SpectroDens を使用してパッチを測定する

Techkon SpectroDens 測定器を使用してパッチレイアウトチャートを測定すると、両方向で測定された場合、降順の測定値が反映されます。チャートパッチは左から右方向にのみ測定することをお勧めします。

KM MYIRO-1 拡大パッチ設定

KM MYIRO-1 拡大パッチ設定は、プレビューペインに反映されるまで時間がかかります。

Fiery XF ワークフローでの Barberi Spectro パッドまたは LFP qb 検証ストリップの測定

Fiery XF ワークフローの検証ストリップで UI の接続設定を指定する条項が Fiery Verify にないため、Barberi Spectro パッドまたは LFP qb 検証ストリップをイーサネットまたは Wi-Fi 接続モードで測定することはできません。

テスト印刷フッター情報

Fiery Device Linker でのクライアントオペレーティングシステムの言語に関係なく、テスト印刷フッター情報が英語で表示されます。

X-Rite i1Pro3 Plus を使用してパッチを測定する

X-Rite i1Pro3 Plus を使用して FieryMeasure で測定値を読み取り、コンピューターがスリープモードに入ると、測定を続行できなくなります。パッチを測定する前に、デスクトップコンピューターシステムでスリープモードを無効にすることをお勧めします。

Color Profiler Suite メインウィンドウ

ナビゲーションボタンが表示されない

Windows 10 のコンピューターでテキストやアプリなどの項目の拡大縮小を変更すると、Color Profiler Suite ウィンドウでナビゲーションボタンが非表示になる場合があります。

測定器

(mac OS) ライセンス取得済みの計器で Color Profiler Suite がデモモードのままになる

Mac コンピューターでライセンス取得済みの測定器を接続した状態で、Color Profiler Suite を完全なライセンスモードで起動し、ライセンスがない別の測定器を接続したうえでライセンス取得済みの測定器を取り外すと、Color Profiler Suite がデモモードに入ります。その後、ライセンス取得済み測定器を接続し直しても、Color Profiler Suite はデモモードのままになります。完全なライセンスモードに戻るには、Color Profiler Suite を再起動する必要があります。

Fiery Printer Profiler

キャリブレーションマネージャーでの G7 濃度ベースのキャリブレーションターゲットの表示

Fiery Color Profiler Suite がインストールされてライセンスされている場合は、キャリブレーターで G7 キャリブレーションを作成することもできます。G7 キャリブレーションでは、G7 グレーバランスに到達するために

トランスファー曲線が Fiery サーバーのキャリブレーションターゲットに適用されます。キャリブレーションマネージャーは、G7 NPDC 補正曲線が適用されたキャリブレーションターゲットではなく、元のキャリブレーションターゲットを表示します。

iGen5 で作成された拡張色域プロファイルでアーチファクトが発生する

iGen5 で CMYK+O、CMYK+G または CMYK+B 色空間を作成し、不適切なアーチファクトが画像に見られる場合、PDF ワークフローで新しいプロファイルを作成し、Fiery Edge 最新エンジンを使用してください。

Fiery サーバーの接続

Fiery Printer Profiler が Fiery サーバーに対して印刷または保存を行っている途中で Fiery サーバーとの接続が遮断された場合、予期しない結果が生じる可能性があります。

新しいキャリブレーションセットとプロファイルの作成時に仮想プリンターを作成する

新しいキャリブレーションセットとプロファイルを作成する場合、仮想プリンターを作成するときに、プロファイル名に 2 バイト文字を含めることはできません。

Fiery Verify

UTF8 文字は未対応

Fiery Verify は、ファイル名に UTF8 文字を含んでいるプロファイルを開くことができません。

追加情報

IDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013 または Ugra/Fogra-MediaWedge V3.0a での測定

Fiery Verify で、パッチレイアウトチャートを EFI ES-1000、EFI ES-2000、Konica Minolta FD-5BT、EFI ES-3000 のいずれかを使用して測定する場合 (ルーラーなしで測定オプションを選択)、IDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013 または Ugra/Fogra-MediaWedge V3.0a 用紙ウェッジを左から右に測定する必要があります。用紙ウェッジを右から左に測定すると、緑色のチェックマークなしの赤色の警告メッセージが表示され、測定が正しく行われなかったことを知らせます。緑色のチェックマークの欠如と警告を無視することを選択すると、測定値が逆順で記録されます。